

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

秋吉台 秋の七草 「枯れ尾花」を楽しむ

日の暮れの早さは覚えるようになりましたが、まだまだ日中の涼しさは感じられません。晴れた陽射しは暑く、曇っていても蒸し暑い日が続きます。それでもどこかに秋の兆しはないものかと、台上を散策。秋の七草は咲きそろったようです。秋吉台では、その一つフジバカマが確認されていないので、よく似たサワヒヨドリが代役です。いずれも秋をいろどる花ですが、ススキの花をまじまじと見ることがあるでしょうか。侘びというか寂びというか、何とも趣があると思いませんか。もしかしたら花ではなく、咲き終わったいわゆる「枯れ尾花」のことなのではないでしょうか。晩秋の夕陽に映える姿は風情があります。



季節の花 それぞれの個性が面白い

ツルボ 日当たりのよいところに生える多年草。地中には丸い球根があります。土手などで見かけることがありますが、花の時期に葉のないものと細い葉が出ているものがあるようです。淡紅色の小さな花が穂状に付いて、下から上へと咲きます。

ツルニンジン 山野に生えるツル性の多年草。根が朝鮮人参に似ていることによる名前です。葉は3~4枚が集まって特徴のある付き方です。花は直径3cmほどの鐘形で下向きに咲きます。目立つ花ではありませんが、この時期に気になるかわいい花です。

キツリフネ 少し湿った林の中などに自生する1年草。時に大群落を作ることがあります。花は黄色く、船というよりはラッパに似た形で、細い花柄で吊り下がって咲きます。



タマゴタケ

また出会えた かわいいキノコ

6月の終わりから7月の初めにかけてと、9月以降の秋まで見ることができます。酷暑の期間は休眠のようです。白いゆで卵のような幼菌の中から真っ赤なキノコが出て来ると離れたところからでも分かります。傘が開く前の赤くて丸いキノコの姿はなんとも愛らしく、思わず「おおー」と声が出ます。成長は早く、傘が広がるとオレンジ色になります。あまりにも赤色が鮮やかなので毒キノコと思われがちですが、食用になります。溶き玉子と一緒に調理すると、ほんのりオレンジ色の美味しいダブル玉子スープができます。



シロバナマンジュシャゲ

田んぼの畔で見かけた思い出

ヒガンバナとショウキズイセンの自然交配種といわれる多年草です。秋の彼岸前後に開花します。よく見かけるのは家の庭や花壇などがほとんどです。ずい分前に国道沿いの田んぼの畔でたくさん咲いているのを見かけましたが、その1週間後にはすべてなくなりました。写真を撮ろうと思ったのですが残念でした。それ以来、そこで見かけることはありませんでしたが、今年になって花茎が2本伸びているのを確認しました。またたくさん咲いてほしいと思います。



江戸朝顔 「轟(とどろき)」

今年で12年目になりますが「江戸朝顔(轟)」を育てています。花は淡紫色で直径10cm以上もある大輪です。違った色の花が咲かないように、毎年育てているのはこの1種類だけです。アサガオというイメージですが、この種は夏の終わり頃から次々と咲き始め、遅いものは10月末まで咲き続けることがあります。花付きは良好です。これまで酷暑や台風に耐えてきました。今年は花壇が水没しましたが、それでも無事に咲いてくれました。



10月の行事

- 10月7日(土) 秋の花の観察会「花盗人の花日記」
秋吉台、真名ヶ岳を散策して秋の花を楽しみましょう。
- 10月14日(土) 観察会「秋吉台の化石」
秋吉台で化石観察と化石採集を体験しましょう。